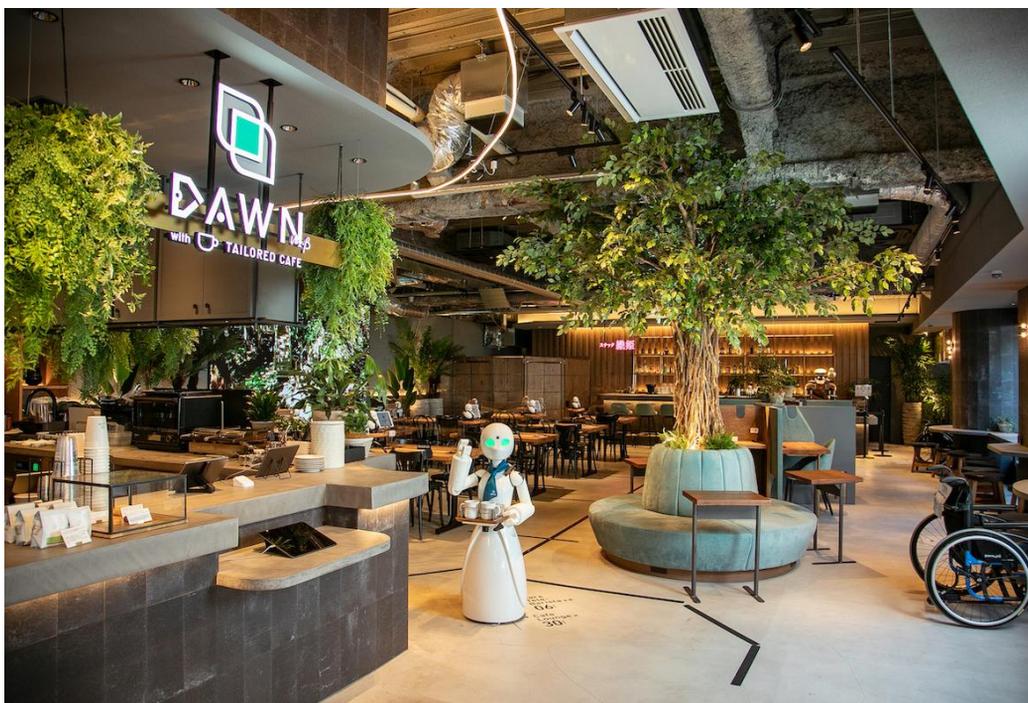


『分身ロボットカフェDAWN ver.β』が「グッドデザイン賞BEST100」 「2021年度グッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）」に選出

分身ロボット『OriHime』（オリヒメ）の開発、提供を手掛ける株式会社オリィ研究所（本社 東京都中央区、代表取締役 吉藤健太郎）の主宰する『分身ロボットカフェDAWN ver.β』（ドーン バージョン ベータ）が、このたび2021年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）において「グッドデザイン・ベスト100」、さらに「グッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）」に選出されました。



本プロジェクトは2021年11月2日に予定されている「グッドデザイン大賞」を決定する最終プレゼンに臨みます。当社では今回の受賞を契機にさらなる事業の拡大やソリューション開発を進めることを通じて、外出困難者の就労と社会参加を積極的に推進し、今後とも未来の新たな働き方の発明に務めてまいります。※ファイナリスト(グッドデザイン大賞の候補 5作品) 2021年度の「グッドデザイン・ベスト100」の中から、審査委員長、審査副委員長、審査ユニットリーダー、フォーカス・イシュー・ディレクターによって選出される賞

◆2021年度グッドデザイン大賞候補 <https://www.g-mark.org/activity/2021/nominate.html>

名称：分身ロボットカフェDAWN ver.β（ドーンバージョンベータ）

概要：「すべての人に社会とつながり続ける選択肢を」をテーマに、ALSなどの難病や重度障害で外出困難な人々が分身ロボットを遠隔操作して働く常設実験カフェ。社会課題をテクノロジーによって克服し「動けないが働きたい」という意欲ある人々に雇用の場を提供し、ここから企業就職するケースも生む。2018年に協賛やクラウドファンディングによる支援を受け初開催し、以降3回の期間限定開催を経て2021年6月、遂に常設店舗を開店いたしました。

公式サイト：<https://dawn2021.orylab.com/>

※「OriHime」「分身ロボットカフェ」は株式会社オリィ研究所の登録商標です。

【審査講評】

分身ロボットの開発を中心に、テクノロジーおよびUXにより就労希望者の「障害」を取り除く画期的な事業。実際に訪れると、ロボットに接客されるのではなく、その奥にいる人に接客されている体感を持てるようデザインされていることがわかる。つまり、ロボットを操縦するパイロットを障害者でもできるように設計されている、ということだけでなく、ロボットをメディアとして障害のある人との生々しい接点がデザインされていることに強い意義を感じる。また、カフェが企業との採用マッチングの場および社会経験の少ない障害者の就業訓練の場としての役割を併せ持ち、実際に一般企業での恒常的な就労に繋がる事例もすでに多く実現している点も高く評価できる。カフェ自体の国内外での展開もさることながら、ここを起点に、さまざまな障害を抱える就労希望者と一般企業、そして消費者との接点がさらに広がっていくことを期待する。

◆2021年度グッドデザイン金賞 <https://www.g-mark.org/award/describe/52931?token=mM5FtoLRIt>



グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に毎年実施され、賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

グッドデザイン大賞候補（ファイナリスト）とは

2021年度の「グッドデザイン・ベスト100」の中から、審査委員長、審査副委員長、審査ユニットリーダー、フォーカス・イシュー・ディレクターによって5作品が選出されました。この中から選ばれる「グッドデザイン大賞（1作品）」は、審査員および受賞者による投票、10月20日から公開される「グッドデザインショー」での一般投票、および2021年11月2日に行われる大賞選出会での最終プレゼンテーションを経て決定されます。

GOOD DESIGN SHOW 2021

グッドデザイン BEST100の受賞作品が一堂に会する受賞作品展が、特設ウェブサイトと実会場での展示を中心に実施されます。

日程：10月20日（水）～ 11月21日（日）

会場：特設ウェブサイト、東京ミッドタウン・デザインハブほか

<http://promo.g-mark.org/> （※事前予約制）